

# 「障害者計画採用進める」

## 雇用水増し問題で石井国交相

中央省庁の障害者雇用水増し問題で、石井啓一国土交通相は8月28日の閣議後の会見で、障害者手帳を認せず計上したことを陳謝し、「今後は法定雇用率を早急かつ確実に達成できるように、各部署で障害者が活躍できる場を積極的に見だし、計画的な採用を進めたい」と述べた。

厚生労働省に要請に基づき再点検について、石井国交相は「障害者手帳などを有する者のみを計上した結果、外局を除く国交省での障害者は286・5人分、実雇用率は0・7%となり、法定雇用率を下回った。外局の観光庁、気象庁、運輸安全委員会でも同様に下回っている」とした。650

人程度不足しているとされる。

原因に関しては「障害者の範囲と確認方法について、厚労省のガイドラインと異なり、幅広く捉えて障

害者手帳などの確認を行わずに計上していたことによる。要件を満たさない医師の診断書に基づく計上、健康診断の結果に基づく計上、人事関係調書に基づく計上などのケースがあると報告を受けている」と説明。「今後、事態が生じないよう、厚労省のガイドラインに従って適切に対応したい」と話した。